

2020年4月9日

本文書は、2020年4月8日、弊社米国本社のウェブサイトに掲載した次の「お知らせ」の日本語版です。

“COVID-19 Update” <https://www accuray.com/covid-19/>

記載内容に相違がある場合は英文(原文)を優先致します。

(本件担当部署: マーケティング)

《日本語訳》

COVID-19 Update: アキュレイの顧客の皆様へのメッセージ(2)

親愛なるアキュレイユーザーの皆様へ

COVID-19 の世界的流行する不確実性の中、皆様そして皆様が地域社会の患者さんのために取り組まれている仕事に感謝の意を表します。がんと診断された患者に医療を提供し続け、日々身を挺して尽くされていることに心より賞賛致します。

米国放射線腫瘍学会 (ASTRO) は [COVID-19 Summary Recommendations to Radiation Oncology Practices](#) (COVID-19 概要、推奨と放射線治療の実際) で、放射線腫瘍医が「…放射線治療における可能な限り最短コース(例えば、骨メタ単回照射、乳房・前立腺といった適切な部位への寡分割照射)で治療を行うことに努め、適切なエビデンスベースのガイドライン(例えば NCCN)に従うこと」を推奨しています。アキュレイ製品 (CyberKnife® や TomoTherapy®, Radixact® の各システム) は、適応可能症例に対する寡分割・超寡分割治療を実施するための技術的ソリューションを提供できると考えています。超寡分割照射法は、患者さんが放射線治療を完了するまでに必要な合計照射回数を劇的に削減します。アキュレイ製品は、その寡分割・超寡分割治療に必要とされる精密な精度を実現するための独自の設計がされています。放射線治療施設への通院が少なく済めば、免疫不全の患者さんにおいて命を脅かす感染症の原因となりうる病原体への潜在的な曝露が少なく済みます。

皆様が命を救うがん治療を患者さんに提供し続けている限り、私たちはご要望の実現推進のために舞台裏で私たちの役割を果たすことをお約束します。この不確実な時期、人手不足に直面し、お使いのアキュレイ製品で患者さんを確実に治療するにはクロストレーニングを必要とされているかもしれません。アキュレイが顧客の皆様を提供するサービスについて、この機会に皆様に共有させて頂きたいと思えます。

- アキュレイは遠隔の医師間プログラムを提供しており、弊社製品による寡分割・超寡分割治療の経験に関する質問を受け付けております。具体的には、本プログラムの利点として、線量目標、治療マージン、線量制約、処方線量および全般的な「ヒントとコツ」といった、熟達したユーザーこそが提供できる経験の共有が含まれます。但し、本プログラムに参加する臨床医は弊社製品の経験豊かなユーザーであり、弊社従業員ではないことをご留意下さい。従って、その見解と経験は個人のものであり、必ずしもアキュレイの見解等を反映したものではありません。アキュレイは医療機器メーカーとして直接的、間接的に医学的アドバイスを提供したり、特定の治療法を推奨したりすることはありません。本プログラムにご興味がある場合、こちらの入力フォームに必要事項をご入力下さい: <https://www accuray.com/ptp/>

- アキュレイには、ピアレビューされ公開済みの臨床文献に関する情報を提供できる、知識豊富なメディカルアフェアチームがあります。
- アキュレイとの保守契約のメリットとして遠隔トレーニングと臨床アプリケーションのサポートの提供があります。このパンデミックの深刻さを考えると、資格を担保された臨床スタッフの不足に直面するかもしれません。人員の問題が患者ケアを脅かすことのないよう、私たちは製品全ての面において新規利用者を迅速にトレーニング・教育するプログラムをご用意しています。

この混乱の中、継続的に治療を行っている皆様一人ひとりに再度感謝を申し上げます。弊社製品を用いて皆様が自信をもってかつ効率的に地域社会にご貢献頂けるよう、私たちは保守に取り組む所存です。皆様ご自身や同僚、皆様の大切な方々がお元気でいらっしゃることを願っております。

謹白

Josh（署名）

Joshua H. Levine

社長兼最高経営責任者（CEO）